



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月7日

上場会社名 ヒビノ株式会社

上場取引所

東

コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ長 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第1四半期	6,499	△28.1	△1,504	—	△1,036	—	△786	—
2020年3月期第1四半期	9,042	41.5	175	—	159	—	97	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △774百万円 (—％) 2020年3月期第1四半期 33百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△79.11	—
2020年3月期第1四半期	9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第1四半期	33,558	9,230	27.1
2020年3月期	33,384	10,283	30.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,102百万円 2020年3月期 10,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定であります。連結業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想を速やかに公表いたしません。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) Hibino Europe B.V. 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	10,265,480 株	2020年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	377,600 株	2020年3月期	306,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,937,420 株	2020年3月期1Q	9,959,552 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、社会経済活動が著しく制限され、景気は急速に悪化しました。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく局面ではありますが、当面の間は、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

当社グループを取り巻く環境においては、東京オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、コンサートやイベントの開催はゼロに近い状況が継続するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大はエンターテインメント産業全体に甚大な影響を及ぼしました。日本政府は、2020年2月26日にイベントの開催自粛を要請し、その後、段階的に開催制限を緩和するとして、5月25日に人数上限を100人とするステップ①へ、6月19日に人数上限を1,000人とするステップ②へと移行しましたが、依然先行き不透明な状況が続いております（発表日現在は、人数上限を5,000人とするステップ③）。

このような状況のもと当社グループ（当社と連結子会社21社）は、日本政府による緊急事態宣言発令期間において国内の拠点を原則として休業とするとともに、徹底した緊縮経営と十分な手元資金の確保に努めました。

新型コロナウイルス感染症に係る事業活動及び業績への影響は、セグメントごとに異なっており、コンサート・イベントの休止の影響を直接的に受けるコンサート・イベントサービス事業は極めて厳しい状況となりましたが、受注済みの大型案件の進行が中心の建築音響・施工事業及び映像製品の開発・製造・販売事業は堅調に推移いたしました。電気音響・販売施工事業は、主力のコンサート音響市場やシネマ市場等で冷え込みが顕著となりました。

売上高が落ち込む中、利益面においては、役員報酬の減額を決めたほか、賞与等人件費、旅費交通費、広告宣伝費等、管理可能コストの削減をグループ全体で実施しております。また、休業に伴う助成金収入を営業外収益に計上しております。

なお、手元資金については、現時点で十分な手元流動性を確保しておりますが、新型コロナウイルス問題の長期化に備え、金融機関との間で50億円のコミットメントライン契約を締結し、財務基盤のより一層の安定を図っております。

これらの結果、売上高6,499百万円（前年同四半期比28.1%減）、営業損失1,504百万円（前年同四半期は営業利益175百万円）、経常損失1,036百万円（前年同四半期は経常利益159百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失786百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円）となりました。

なお、2019年2月28日に行われたTLS PRODUCTIONS, INC.との企業結合について、前第1四半期連結累計期間に暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同四半期との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額を用いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[電気音響・販売施工事業]

電気音響・販売施工事業は、前期からの進行案件や工事の遅れにより検収が遅延していた大型案件が計上されたことから、売上高及び利益は前年同四半期と比べ改善いたしました。

一方、緊急事態宣言発令期間において大幅に業務を縮小し、解除後も営業時間を短縮するなど、積極的な営業活動ができない状態が続きました。

市場別では、主力のコンサート音響市場（ライブハウス等を含む）やシネマ市場等で冷え込みが顕著となったほか、売上の基礎となる流通商品の販売も軟調に推移いたしました。一方、WEB会議やYouTubeライブ配信関連の商品の需要が伸びるなど、明るさが見える市場もありました。

これらの結果、売上高3,629百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント損失75百万円（前年同四半期はセグメント損失117百万円）となりました。

[建築音響・施工事業]

建築音響・施工事業は、受注済みの案件について、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に休工や着工延期が生じたものの、概ね想定に近い水準で進捗しました。ホール等の建築音響工事をはじめ、自動車メーカーの音響実験室工事、清掃工場の防音工事等の大型案件が進捗し、売上高は前年同四半期を上回りました。

一方、前年同四半期に利益率の高い案件が集中していたことから、利益は前年同四半期を下回りました。

これらの結果、売上高1,871百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益55百万円（前年同四半期比43.2%減）となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まっております。

東京オリンピック・パラリンピック関連の仮施設向けやアパレル店舗向けの大型案件を着実に遂行し、売上高及び利益は前年同四半期を上回りました。

これらの結果、売上高469百万円（前年同四半期比75.9%増）、セグメント利益100百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催は難しい状況が続いております。コンサートやスポーツイベント、コンベンションの開催が皆無に等しい中、企業イベントは株主総会案件を例年どおり受注したほか、オンライン配信といった新たな需要がありました。

しかしながら、現時点において事業の大部分が休業している状況に変わりはなく、厳しさは増しております。

これらの結果、売上高494百万円（前年同四半期比85.2%減）、セグメント損失1,329百万円（前年同四半期はセグメント利益513百万円）となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高34百万円（前年同四半期比74.8%減）、セグメント損失7百万円（前年同四半期はセグメント利益17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は33,558百万円となり、前連結会計年度末と比べて174百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことが主な要因であります。

負債合計は24,328百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,227百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が減少したものの、長期借入金、前受金、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は9,230百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,052百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び株主配当により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、新型コロナウイルス感染症は、当社グループの経営に甚大な影響を及ぼしており、未だ終息の兆しが見えておりません。そのため、当社グループの業績に与える影響度合いを適正かつ合理的に見積もることは困難であることから、2021年3月期の業績予想及び配当予想を引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想及び配当予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,807,495	6,433,274
受取手形及び売掛金	9,004,688	5,615,418
商品及び製品	3,714,141	3,890,814
仕掛品	2,155,644	1,688,774
原材料及び貯蔵品	72,661	74,143
その他	1,500,409	1,757,703
貸倒引当金	△56,396	△53,392
流動資産合計	19,198,645	19,406,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,279,906	2,266,285
減価償却累計額	△1,361,572	△1,405,823
建物及び構築物(純額)	918,333	860,461
機械装置及び運搬具	16,384,918	16,397,410
減価償却累計額	△11,883,748	△12,287,554
機械装置及び運搬具(純額)	4,501,169	4,109,856
工具、器具及び備品	1,871,302	1,880,211
減価償却累計額	△1,495,959	△1,521,911
工具、器具及び備品(純額)	375,342	358,299
リース資産	1,701,928	1,677,797
減価償却累計額	△788,229	△768,323
リース資産(純額)	913,699	909,474
その他	1,713,495	1,967,743
有形固定資産合計	8,422,040	8,205,836
無形固定資産		
のれん	2,277,661	2,200,301
その他	482,156	463,657
無形固定資産合計	2,759,817	2,663,958
投資その他の資産		
その他	3,027,515	3,305,595
貸倒引当金	△23,774	△23,295
投資その他の資産合計	3,003,741	3,282,299
固定資産合計	14,185,599	14,152,094
資産合計	33,384,244	33,558,830

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,900,894	2,495,280
短期借入金	2,330,000	2,875,741
1年内返済予定の長期借入金	2,628,416	3,129,296
リース債務	338,557	341,076
未払法人税等	356,656	223,679
前受金	2,034,816	2,635,559
賞与引当金	754,103	253,689
資産除去債務	109,556	109,556
その他	1,473,733	1,465,766
流動負債合計	13,926,732	13,529,646
固定負債		
長期借入金	5,966,152	7,593,208
リース債務	659,319	651,725
退職給付に係る負債	2,286,650	2,295,272
資産除去債務	98,632	98,765
その他	163,676	159,983
固定負債合計	9,174,431	10,798,954
負債合計	23,101,164	24,328,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	1,981,767	1,981,767
利益剰余金	6,627,807	5,667,351
自己株式	△166,027	△265,961
株主資本合計	10,192,202	9,131,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,002	8,545
繰延ヘッジ損益	2,975	1,213
為替換算調整勘定	△77,579	△76,107
退職給付に係る調整累計額	37,511	37,161
その他の包括利益累計額合計	△30,090	△29,187
非支配株主持分	120,968	127,602
純資産合計	10,283,080	9,230,229
負債純資産合計	33,384,244	33,558,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,042,422	6,499,125
売上原価	5,868,935	5,269,520
売上総利益	3,173,487	1,229,604
販売費及び一般管理費	2,998,297	2,733,913
営業利益又は営業損失(△)	175,189	△1,504,309
営業外収益		
受取利息	1,210	1,054
受取配当金	1,938	2,397
為替差益	-	17,518
助成金収入	-	394,108
その他	49,087	84,919
営業外収益合計	52,236	499,997
営業外費用		
支払利息	23,714	20,559
為替差損	41,860	-
その他	1,872	11,356
営業外費用合計	67,447	31,916
経常利益又は経常損失(△)	159,978	△1,036,228
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	159,978	△1,036,228
法人税等	43,898	△259,916
四半期純利益又は四半期純損失(△)	116,080	△776,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,264	9,852
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	97,815	△786,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	116,080	△776,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△758	1,543
繰延ヘッジ損益	△954	△1,761
為替換算調整勘定	△80,481	2,297
退職給付に係る調整額	△161	△349
その他の包括利益合計	△82,355	1,728
四半期包括利益	33,724	△774,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,029	△785,260
非支配株主に係る四半期包括利益	12,694	10,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式71,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が99,933千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が265,961千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	3,509,787	1,783,098	266,932	3,347,507	135,097	9,042,422	-	9,042,422
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,242	1,300	9,529	61,499	16,380	139,950	△139,950	-
計	3,561,029	1,784,398	276,461	3,409,006	151,477	9,182,373	△139,950	9,042,422
セグメント利益 又は損失(△)	△117,563	98,072	△6,547	513,060	17,279	504,301	△329,112	175,189

(注) 1. セグメント利益の調整額△329,112千円には、セグメント間取引消去19,713千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,825千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	3,629,104	1,871,995	469,440	494,516	34,067	6,499,125	-	6,499,125
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,030	2,371	90,330	50,271	115,383	272,387	△272,387	-
計	3,643,135	1,874,367	559,770	544,787	149,450	6,771,512	△272,387	6,499,125
セグメント利益 又は損失(△)	△75,243	55,739	100,326	△1,329,901	△7,227	△1,256,306	△248,002	△1,504,309

(注) 1. セグメント利益の調整額△248,002千円には、セグメント間取引消去43,484千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,487千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額により組み替えております。